

# 新福田港フェリーターミナル地鎮祭

小豆島には七つの港があります。そのうちのひとつが福田港です。

福田地区は、石材産業とともに発展してきました。ここから大阪城や皇居二重橋の石が積みだされただけでなく、関西国際空港整備などの公共事業に使う石も積み出されました。

福田港は、今は、姫路港とフェリーボートでつながり、小豆島の京阪神などとの貴重な玄関港になっています。特に、坂手港と神戸を結ぶ定期航路がない間、とても重要な役割を果たしてくれましたが、これからもっと大きな役割を担うことが期待されています。

福田港は、とても風情があって、映画「八日目の蝉」では、喜和子が逮捕され、薫と別れる、この映画の最も大事なシーンの撮影現場になりました。

この福田港のフェリーターミナルがこのたび新築されることになりました。嬉しいことにターミナルの完成に合わせて、(株)小豆島急行フェリーでは、4月26日から新造船の就航を予定しています。

新しいターミナルは、地元小豆島の西崎組が設計施工しますが、福田港に相応しい「海鮮問屋」をイメージした、しゃれた建物になるそうです。完成が待ち遠しいです。

福田地区は、これから、「福武ハウス」を軸にアジアのアートのプラットフォームとして生まれ変わるはずです。石の文化の世界遺産化に向けての取り組みも、時間はかかりますが、これから本格的に動きだします。

日本中、世界中から、大勢の皆さんが福田港から小豆島を訪れることになるはずです。その一歩を、今日、(株)小豆島急行フェリーが踏み出していただいたことに感謝します。(平成26年2月3日)



姫路と小豆島をつなぐ福田港



福田地区は、「福武ハウス」を軸に  
アジアのアートのプラットフォーム  
として生まれ変わります



石の文化の世界遺産化に向けての  
取り組みも始まっています  
(写真：同志社大学による海中遺構調査)